

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2019 年 12 月 27 日作成)

小委員会名	地震荷重外力小委員会	主 査 名：糸井 達哉 就任年月：2019 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：高橋 徹
設 置 期 間	2019 年 4 月 ～ 2023 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2025 年頃に予定される荷重指針次期改定を視野に置き、地震に起因する荷重外力についての最新の学術的知見を分析し、東北地方太平洋沖地震以降の時代の社会の要請にも留意し、建築物の性能設計とそこで求められる地震荷重や設計用地震動の望ましい近未来像への着実な歩みを次期荷重指針案に反映させる具体策を検討する。 初年度：建築物の性能設計とそこで求められる地震荷重や設計用地震動の望ましい近未来像に向けた当面の重点課題の検討方針 2 年度：建築物の性能設計とそこで求められる地震荷重や設計用地震動の望ましい近未来像に向けた当面の重点課題の検討推進（1 年目） 3 年度：建築物の性能設計とそこで求められる地震荷重や設計用地震動の望ましい近未来像に向けた当面の重点課題の検討推進（2 年目） 4 年度：荷重指針次期改定の具体的なポイントの絞り込みと原稿素案の作成	
委員構成 (委員名（所属）)	委員公募の有無：無 主査：糸井達哉（東京大学） 幹事：田中浩平（鉄道総合技術研究所）、森井雄史（清水建設）、 委員：石井透（清水建設）、境茂樹（安藤・間）、高田毅士（東京大学）、田村良一（新潟工大）、恒川裕史（竹中工務店）、中村尚弘（広島大学）、中村博一（フォーラムエイト）、平川倫生（三菱地所設計）、福島誠一郎（リスク工学研究所）、松島信一（京都大学）、渡辺哲史（小堀鐸二研究所）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019年度予算	230,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s26/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築物の性能設計とそこで求められる地震荷重や設計用地震動の望ましい近未来像に向けた当面の重点課題について、土木分野、地震工学分野の外部専門家と議論を行い、重点的に取り組む課題について共通認識を得た。
委員会活動の問題点・課題	1. 2025 年頃に予定される荷重指針次期改定に向けた本小委員会からの提案に向けた課題の解決 2. 建築基準法も含めた性能規定型の設計法実現に向けた検討 3. 国際的な視野・観点に基づく検討 4. 関連小委員会（建築物の減衰機構とその性能評価小委員会等）との関係